

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 広島常光福祉会	代表者	柿木田 勇	法人・ 事業所 の特徴	法人は「常に光る一番のサービスを提供します」を理念としており、介護サービス事業所を複数運営している。総合ケアげんきは法人の事業所の中の1つである。同一敷地内にグループホームと保育園を併設し、広い園庭がある。小規模多機能の特性を活かし、利用者のニーズに柔軟に対応するよう努めている。
事業所名	総合ケアげんき	管理者	山岡 圭吾		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	0人	10人	1人	0人	1人	0人	4人	0人	16人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>自己評価はわかりやすい表現で記入するようにする。</li> <li>法人のホームページの事業所ブログを更新し、多くの人に事業所を知ってもらえるようにする。</li> <li>地域のイベントには少人数でも参加出来るよう計画する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自己評価はわかりやすい表現で、記入するよう配慮した。</li> <li>法人のホームページは不定期であるが更新し、事業所の雰囲気を知ってもらえるように努めている。</li> <li>イベントに参加出来そうな利用者がいなかったり、職員の出勤人数の関係もあり、計画出来ず。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>地域のイベントの情報があれば、参加するように計画する。</li> </ul>
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>運営推進会議などを総合ケアげんきで行う機会を作り、事業所についてもっと知ってもらえるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>運営推進会議を総合ケアげんきで開催することがなかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>音や臭いなどは特に気にならない。</li> <li>町内会の集まりの時などにフロアに入っても特に気になることはない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>運営推進会議を総合ケアげんきで実施する機会を作る。</li> </ul>
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の方々に会った時は、職員から気持ちの良い挨拶と笑顔を中心掛ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の方への挨拶や笑顔を中心掛けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員の挨拶や対応は感じが良い。</li> <li>相談は地域包括にすることがある。</li> <li>地域のイベントが少ないが、地域清掃などには参加している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員の異動などがある為、新しい職員にも地域の方への挨拶や快い対応を中心掛けるよう伝達していく。</li> </ul>

			きてみん祭は地域の人に知られて、人が集まるようになったが、アピールしすぎても多くの人に来たら対応が大変かと思うので、今ぐらいの規模で良いのでは。	
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	・地域情報を収集し、出来る限りイベントなどに参加することで利用者が地域と関われるようにする。	・町内清掃には職員が参加しているが、利用者は危険な場合がある為参加していない。園庭に出た時などには地域の方と交流している。		・地域のイベントに利用者が参加することで、園庭に出た時だけでなく地域の方と関われるようにする。
E. 運営推進会議を活かした取組み	・地域の心配な方がいれば、必要に応じて相談に応じたり地域包括につなげたりする。そのためにも普段から地域に目を配る。	地域で心配な方の情報は入らず、問い合わせがあった場合は対応している。		・運営推進会議の時などに、地域のことを情報収集し、相談や対応を行う。
F. 事業所の防災・災害対策	・今後も事業所で防災訓練を行い、実践的な防災知識を深めるとともに地域の方々との協働に努める。	防災訓練は定期的に行い、地域の方々と一緒に知識を深めている。	地域がげんき馬木の防災訓練に参加している。	・防災について、地域の方とともに繰り返し学び、職員の防災意識も高める。